

児童発達支援 支援プログラム

事業所名 発達支援センター ひなたぼっこ

作成日 令和 6年 9月 2日

法人理念	障がいのある子ども及び保護者の意思及び人格を尊重し、子どもや保護者の立場に立った適切な支援を行う。			
支援方針	1 障がいのある子どもが日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、子どもの心身の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行う。			
	2 地域との結びつきを重視し、保護者、市町村、他の通所支援事業所、相談支援事業所、その他福祉サービスまたは保健医療サービスを提供する者との密接な連携に務める。			
	3 関係法令を順守し、子どもや保護者のニーズを把握し、適切な支援を行う。			
営業時間	午前9時から午後6時	サービス提供時間	午前10時から午後1時	送迎 有
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食事・排泄・着脱衣等の基本的な生活習慣の形成に向けて、子どもの状態を把握し、適切な目標を設定して支援する。 ・他児と一緒に活動する中で、生活の基本的な技能や様々な遊びを通しての学びを促進するよう支援する。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に不可欠な動作や姿勢保持に必要な筋力をつけるための活動を積極的に取り入れて支援する。 ・視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の感覚の活用や、粗大運動・微細活動で体幹や指先の力を伸ばしていくよう、遊びを通して支援する。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の認知特性を理解し、情報を捉えたり、適切に反応したりする力を養う支援を行う。 ・指示を聞き取って活動したり、模唱や模写等を行うことで、文字・物・数・形の概念の形成を図るよう支援する。 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況や興味関心に応じて、表情・身振り・言葉で意思のやり取りが増えるように支援する。 ・小集団での活動を通して、他児と一緒に活動する場を意図的に設定し、コミュニケーションが展開できるように支援する。 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な信頼感を持つことができるように、安心感・信頼感をはぐくむ支援を行う。 ・一人遊びから小集団での遊びや活動へ発展させることで社会性をはぐくめるよう支援する。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・できるようになったこと、苦手なことへの働きかけ方などを保護者と共有して、成長を共に喜べる支援をする。 ・必要に応じて、活動の見学や面接相談を取り入れ、家族の子育てへの相談援助を行う。 			
移行支援	保育所等と成果や課題、対応方法を共有し、同じ方向を目指した支援が行えるように努める。			
地域支援・地域連携	市町や関係機関と連携し、就学や進学を見据えて情報共有や発達支援における連携を図る。			
職員の資質向上	外部研修、ZOOM等を利用した研修に職員の参加を促し、伝達研修や月一回の研修で積極的な意見交換や学びが行えるようにする。			
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた行事を月一回程度行い、季節感の育成や自然・生活・地域と接する機会を設定する。毎月避難訓練を実施する。 ・行事は、お花見・端午の節句・梅雨の会・七夕・夏祭り・運動会・ハロウィン・秋探し・クリスマス・初詣・節分・ひな祭りを計画している。 			

放課後等デイサービス 支援プログラム

事業所名 発達支援センター ひなたぼっこ

作成日 令和 6年 9月 2日

法人理念	障がいのある子ども及び保護者の意思及び人格を尊重し、子どもや保護者の立場に立った適切な支援を行う。			
支援方針	1	障がいのある子どもが日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、子どもの心身の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な支援を行う。		
	2	地域との結びつきを重視し、保護者、市町村、他の通所支援事業所、相談支援事業所、その他福祉サービスまたは保健医療サービスを提供する者との密接な連携に務める。		
	3	関係法令を順守し、子どもや保護者のニーズを把握し、適切な支援を行う。		
営業時間	午前9時から午後6時	サービス提供時間	午前2時から午後5時（学校休業日は、午前10時から午後4時）	送迎 有
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整え、基本的な生活習慣が形成できるよう、子どもの状態を把握し、適切な目標を設定して支援する。 他児と一緒に活動する中で、基本的な生活スキルを身に着けたり、使ったりできるよう、様々なレクリエーションを通しての学びを促進するよう支援する。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に不可欠な動作や姿勢保持に必要な筋力や、運動・動作・移動能力をつけるための活動を積極的に取り入れて支援する。 視覚・聴覚・触覚・嗅覚等の感覚の活用や、粗大運動・微細活動で体幹や指先の力を伸ばしていくよう活動を通して支援する。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人一人の認知特性を理解し、情報を捉えたり、適切に反応したりする力を養うよう支援をする。 集団での活動に参加できるように練習したり、基本的な知識の習得や、学習内容の理解が進むよう支援する。 		
	言語・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの状況や興味関心に応じて、表情・身振り・言葉で意思のやり取りが増え、自分の意思や考えを伝える力を育てるよう支援する。 他児と一緒に活動する場を意図的に設定し、相手とのコミュニケーションによって相互理解や協力的な言動が展開できるように支援する。 		
	人間関係・社会性	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な信頼感を持つことができるように、安心感・信頼感をはぐくむ支援を行う。 異年齢の集団での活動や、施設外での体験活動により、成長に応じて家庭や社会で活動できる素地を養うよう支援する。 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> できるようになったこと、苦手なことへの働きかけ方などを保護者と共有して、成長を共に喜べる支援をする。 必要に応じて、活動の見学や面接相談を取り入れ、家族の子育てや進路等、将来を見据えた相談援助を行う。 			
移行支援	学校等の関係機関と成果や課題、対応方法を共有し、同じ方向を目指した支援が行えるように努める。			
地域支援・地域連携	市町や関係機関と連携し、就学や進学を見据えて情報共有や居場所づくり等が提案できるよう連携を図る。			
職員の資質向上	外部研修、ZOOM等を利用した研修に職員の参加を促し、伝達研修や月一回の研修で積極的な意見交換や学びが行えるようにする。			
主な行事	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた行事を月一回程度行い、季節感の育成や自然・生活・地域と接する機会を設定する。年2回の避難訓練を実施する。 行事は、お花見・端午の節句・梅雨の会・七夕・夏祭り・運動会・ハロウィン・クリスマス・初詣・節分・ひな祭りを計画している。 			